

# とよま公民館だより

2021



【発行】とよまコミュニティ運営協議会【住所】登米市登米町寺池目子待井 391  
【TEL】(0220) 52-2316【FAX】(0220) 52-3657

## なくせない なくしたくない “とよまの伝統”

11月7日、伝統芸能伝承館・森舞台にて「とよま伝統芸能伝承体験会」を、登米市教育委員会・(株)とよま振興公社共催のもと、登米小・中学校のお力をお借りし開催しました。おかげさまで、開催10日前には参加申込みが20人に満たない状況でしたが、当日は200人もの方々に登米町の伝統芸能を観ていただくことができました。ご参加・ご出演・ご協力をいただきました皆様にはただただ感謝です。ありがとうございました。



登米町には、昔から受け継がれてきた伝統芸能として、宮城県無形民俗文化財である「登米能」、登米市無形民俗文化財である「とよま囃子」、「岡谷地南部神楽」があり、毎年9月の「とよま秋まつり」を作り上げてきました。しかし、ここしばらくほどの伝承団体も高齢化と担い手不足が悩みの種で、存続の危機に直面しております。その悩み解消の一手として、登米町からお祭りを無くさないための地域づくり事業として、同体験会を企画・開催した次第です。



当日はたいへん天気に恵まれ、日差しが眩しすぎるカメラマン泣かせの日和でした。

初めに舞台に登場した『とよま囃子(とよま山車まつり保存会)』では、登米中学校2・3年生14人にも参加してもらい、流し等お囃子7曲と木遣りを元気いっぱい行っていました。

続いての『岡谷地南部神楽(同保存会)』でも、登米中学校2・3年生7人が崩しの舞(鶏舞)を元気に跳ね、保存会メンバーが笹割りの舞を舞台狭しと演じられました。



芸能発表の締めは『登米能(登米謡曲会)』。演目は猩猩(しょうじょう)という古典に登場する架空の動物が主役の物語でした。謡いや笛・鼓が奏でる音色、そして荘厳な舞いに会場が能独特の空気感に包まれました。ご参加いただいた皆様には、2年ぶりに登米町の伝統芸能を堪能してもらえたことでしょう。

<裏面に続く>

その後、参加者に興味のある芸能を経験してもらう体験会を行いました。体験会では、伝統芸能毎に会場を別にし、太鼓や鉦(かね)の打ち方、足の運び方・手の振り方など舞い方、声の抑揚など語り方を体験していただきました。

体験会開催の成果は、各芸能団体への新規入会者が3団体とも各1人という状況でしたが、地域の方々に現状を理解してもらうこと、伝統芸能を無くさないための意識付けにはなったものと思います。

今後も、登米町から伝統芸能・お祭りを無くさないための取組みを行ってまいりますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。また、各団体では引き続き新規メンバーを募集しておりますので、興味のある方は登米公民館までご連絡をお願いします。



とめチャンネル

検索

なお、当日の様子は、インターネット動画サイト・YouTube（ユーチューブ）で見ることができます。  
【とめチャンネル】で検索し、是非ご一見ください。

## クリスマスを彩るスワッグ作り

11月25日は豊里の日野一樹先生をお迎えして、第6回目のフラワー教室「スワッグ作り」を8名の参加者とともに行いました。

「スワッグ」とは、「壁飾り」という意味で季節の植物を使うことで旬をお部屋に飾ることができます。ヨーロッパでは、リースと並び魔除けや幸福を呼ぶために玄関や室内に飾る習慣があるようで、参加者の皆様には「クリスマスとお正月にも飾ることができる。」と大好評でした。



### 【事務連絡】

1月の移動研修会は、改めてご連絡させていただきます。

### お知らせ

- ・登米公民館の会議室において Wi-Fi が使えるようになりました。
- ・会議等でご使用になりたい方は、申請時にお申し出ください。
- ・Wi-Fi の使用料は無料・かかりません。



### 12月の予定

- 5日(日) 親子クッキング教室
- 12日(日) 男の料理教室



### 文書訂正のお知らせとお詫び

先月配布いたしました、とよま公民館だより 10月号の「とよま歴史探訪 in 山町」の記載内容に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正をさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

<訂正箇所> (誤) 移封以来の待医 (正) 移封以来の侍医

